当協会では、会員の個人情報保護等の情報セキュリティー 強化を目的に協会事務所管理方針を変更しました。それに伴 い、「会員向け事務サービス『ビジネスコンビニ』利用規程」を 廃止し、新たに「事務所等管理規程」を12月1日に施行しまし た。また、事務所レイアウトを変更することで、事務スペースと 共有スペースを明確に区分しつつ共有スペースを大幅に広げ ました。共有スペースには、14名程度の会議スペースと4名の 打合せスペースおよび業種別審査事典閲覧用PC設置スペー スを確保しました。また、新たに書棚を設置することで、協会が 所有している図書類を自由に閲覧できるようにしました。その 結果、これまでにもまして協会事務所の利便性を向上させるこ

とができました。

会員の皆様には、リニューアルした協会事務所に気軽にお 立ち寄り頂き、情報収集や会員間での情報交換の場として有効 にご活用頂きたいと考えております。

また、当協会では、協会会員各位の満足度向上のための事 務所機能の充実を図るための活動だけに留まらず、中小企業 診断士の社会的地位の向上のための活動を今後も積極的に 展開していく予定です。そして、それら諸活動が中小企業診断 士の皆様の活躍の場を広げることに少しでも寄与できればと 考えております。 (総務委員長 加山晴猛)



オープンセミナー

「企業内診断士祭り Wasshoi」

- ◆日時: 平成30年1月27日(土)12:50~16:50
- ◆場所: 神戸市産業振興センター 802・3号室
- ◆プログラム:

基調講演「企業内診断士に期待すること」(兵庫県中小 第1部 企業診断士協会 柴谷会長)、企業内診断士による調査 研究事業の紹介・報告・告知等「中小・零細企業が法改 正に対応したHACCPを導入する際の効果的な支援ス キームの調査研究」他

パネルディスカッション~4人のパネラー大いに語る~ ワールド・カフェ〜参加者全員のアイデアを共有する〜 懇親会 17:10~19:10 希望者のみ

◆参加費: 2.000円(懇親会費込)

お申し込みは、下記のサイトからお願いいたします。 https://ssl.form-mailer.jp/fms/88b70351507573

オープンセミナー

「日本銀行神戸支店長が語る! 最近の金融・経済情勢について」

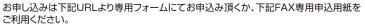
兵庫県中小企業診断士協会では、下記の日程で恒例のオープンセミナー「日本銀行神 戸支店長が語る!最近の金融経済情勢について | を開催します。「現在の世界経済の局面 はどのような状況か?」「日本経済の現状はどうなっているのか?どうなるのか?」「地元兵 庫県経済の現状と今後の課題は?」などの内容で、日本銀行神戸支店長の石井正信氏のお 話を伺うものです。経済の現状と今後の動きが気になる方は必見の内容です。どなたでも 参加できるので、会員以外の方にも積極的にお声がけください。

◆日時: 平成30年2月14日(水) 18:30~20:30

◆場所: 神戸市産業振興センター901号室 ◆講師:日本銀行神戸支店長 石井正信氏

◆定員: 100名(先着順、事前申し込み制)

◆参加費:無料(どなたでも参加できます!)



https://goo.gl/XuXLHh (携帯の方は右上のQRコードをご利用ください)

研究会スケジュール

● 診断技術向上研究会 日 時 場 所 講師 テーマ 1月11日(木) 神戸市産業 国際化(海外進出)支援できる診断士像を考える。 2月 8日(木) 振興センター 「海外進出支援マニュアル」の作成① 上山 芳樹 氏 803号室 「海外進出支援マニュアル」の作成② ※開催日は原則、毎月第2木曜日 18:30~20:30 ※連絡先:代表 楠田 貴康(くすだ たかやす) tkusuda2002@gmail.com ● 地域産業活性化研究会

日 時 場 所 テーマ 講師 1月10日(水)神戸市産業振興センター おもてなし規格認証制度に 研究会員全員 804号室 ※開催日は原則、毎月第1水曜日 18:30~20:30 ※連絡先:代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp(今年度の会員募集は締め切りました

● ひょうごオンリーワン経営研究会(HOO) テーマ 新年会(入会希望者参加歓迎) 参加者全員 1月(日時未定) 三宮界隈 「今年度の調査研究計画について」

※連絡先:代表 中島 和樹 nrj21477@nifty.com

	● HRM Human Resource Management 人的資源管理						
	日	時	場	所	テーマ	講師	「(進行役)
	1月9日(火) 2月6日(火)		旧足	会館	調査研究に関して	畑	英樹 氏
			宗氏	云垢	過量別元に対して	ЛШ	大団以
	今年度は企業内診断士の活動内容をモデル化しアンケートやヒアリングを 施し分析を行い、各方面からの協力を得ながら研究活動を実施しています						

※上記日程以外にも、大学や関係機関との研究交流などを随時実施

※連絡先:畑 英樹 srhataz@vahoo.co.ip

●青年部会

日時	場	所	テー	· マ	講	師
1月 9日(火)	神戸市勤労会	館409号室	青年部合同フ	ェスタの検討		
2月 5日(月)	神戸市勤労	会館(予定)	未	定	参加者	全員
※開催日は原則 ※参加資格:4 ※連絡先:西口	9歳以下の	支部会員	21:00 @nifty.com			

■ ものづくり&SCM研究会

OODTOGOONIMITE						
H	時	場所	テーマ	講師		
2月3日	3(土)			①佐々木信也氏 ②岡村恵望子氏		
3月3日(土) ^県		県民会館	(仮題)中小企業の経営支援について	経済産業省 産業構造課長 蓮井智哉氏		
4月7E	(土)		未 定	未 定		
※開催日は原則、第1土曜日 14:30~17:00(1、5、8、12月除く)						

※連絡先:三村 光昭 QZEO2753@nifty.com

(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限ります)

● プロコンスキル研究会

日 時	場所	テーマ	講師(進行役)			
1月 8日(月)	:	ナゼキの佐に トフ	板垣 大介 氏高越 宏和 氏			
3月12日(月)	神戸市産業振興センター 905号室	支援事例等による 実践スキルの研鑽	高橋 秀仁 氏福島 猛氏			
5月14日(月)			福島 繁氏			
※開催日は原則、奇数月の第2月曜日 18:30~20:30※連絡先: 山元 岳司 y_take_shi@ybb.ne.jp						

編集後記

※開催時間は19:00~21:00

「働き方の未来2035」が厚生労働省から発表されたとき、他人事のようだったシンギュラリティが自分の環境に直に投影されたようで、わくわ くしたのを覚えています。企業内診断士の気質を議論しながら、さらに、地域を越えた横つながりの活動に加わり、「働き方」の仕組みを、これか らより良くしていく策を提言していこうとしています。新しいことがはじまる2018。「革新」に「チャレンジ」する我らの気質か、と思いました。(鳥)

平成30年1月1日発行

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 柴谷 真治 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8F TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL:http://www.shindan-hg.com

人づくり・生産性向上を 再認識した支援を

兵庫県中小企業診断士協会 柴谷 真治 会長

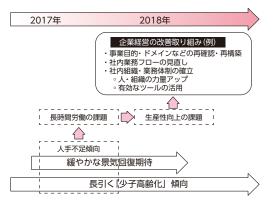


新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましても、健やかに新しい年をお迎えになられ たことと存じ上げます。

昨年は各種の経済指標が景気回復の傾向を示し、わが国 の産業界にも明るいムードが広がった1年間であったように思 います。その影響もあってか、学生の新卒者をはじめ、企業の 人手不足感も語られる機会も増えています。

このような流れの中で、「働き方改革」とともに「生産性向上 と人づくり」という国の方針も示されています。IoTやAI、ロボッ ト技術などにも注目が集まり、「人手不足」に対して「少ない人 数でもより多くのアウトプットを得る」ことを一つの目的にしてい ると考えられます。このような流れを受け、中小企業はどのよう な経営視点を持って対応していくべきかを、企業経営者の方々 と共に考えながら、この1年間を過ごしていこうと思います。



少子高齢化について

各所で公表されているように、2030年のわが国の人口は約 1億1千7百万人と予想されています。これは2010年の約1億 2千8百万人から20年間で9%弱の減少ですので、緩やかな減 少とも見ることができます。しかし労働生産人口といわれる15 歳から64歳の人口は、同じ期間に約817万人から約680万人 と、約17%の減少が予想されています。

働き手の視点においては、65歳以上の人材および、生産労 働人口の中の女性の活用が、自ずと期待されることになり、働 き方、すなわち就業形態の多様化がこれまで以上に求められ ることになります。企業側では、働く人それぞれの仕事以外の

個人事情が就労の妨げにならないような雇用形態を設定して いく必要も高まっています。

生産性向上について

生産性向上は、製造業を対象に長年研究されているテーマ であり、近年はIoTやAIなど、技術革新の進展もあり、多様な 具体策が提案されています。今後は製造業に限らず、販売事 業であれば販売効率や物流効率、サービス事業であれば人的 サービスの効率向上など、全ての業務場面で、質を落とさず従 来よりも生産性(業務効率)の高い事業プロセスを設計し実践 していくことに、多くの企業が取り組まれることと思います。

人と組織の力量アップ

企業の生産性は、個々の働き手の力量がアップし、組織とし ての業務遂行能力を高めるということに他ならないと思いま す。最新技術の導入も大切ですが、その前に「現在の業務フロ ーをどのように改善できるか」、ということをスタートとして、各 種の業務フローの改善や手段として新たな設備等の導入も、 効果を実現させる知識や能力、すなわち人の力量が備わって いなければなりません。

SWOT分析における「強み」には、商品、ブランド、技術、販 売力、顧客、歴史・伝統など、様々な要素がありますが、それらは 全て「社内の人の力量」によって培われたもので、それらを受 け継いだ時代ごとの「社内の人の力量」がなければ、「強み」 の維持・充実も難しい、といえるのではないでしょうか。

さらに「組織としての力量アップ」につなげるには、社員個人 の業務能力向上に留まらず、社員それぞれが力量を上げ、それ らを統合した時に、1+1が2を超えられるような組織力向上につ なげていくことを目指して取り組んでいければよいと思います。

新しい年を迎えるにあたり、我々中小企業診断士も、今の時 流を踏まえた人づくり・生産性向上を再認識し、それぞれの得 意分野で企業の将来を描くためのお役に立ちたいものだと思 います。

本年も会員の皆様方が、企業経営を支援する中小企業診断 士として、それぞれの立場でご活躍いただき、ご健康でよい一 年としていただきますよう祈念申し上げます。本年も何卒よろし くお願いいたします。

NO.113 診断ひょうご



年男年女





晃(昭和21年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。つい2年前に子・孫達に古希の祝いをしてもらったばかりで、なん と時間の早いことか!「縁尋機妙 多逢聖因」良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展していく様は誠に妙なる ものと感じています。また、いい人に交わっているから良い結果に恵まれていると感謝しています。今日ま で数多くの佳き人達の出会いがあり今日の自分があります。これからも謙虚さと感謝の心を忘れずに、生 涯現役を目指していきたいと思います。



上川芳樹 (昭和33年生まれ)

あけましておめでとうございます。早いもので今年で還暦を迎えることになりました。会社も定年の域 に。でもまだまだ気分も体も若い!前を向いて進みたいですね。目標は、自分の強みを生かすこと。上海で の4年間の駐在経験と研究会で磨かせていただいた「海外進出支援」、永年の経験で培った「戦略的会計」 で自分の活路を開いていきます。趣味のマラソンもフルマラソンにサブ4(4時間以内)を目指しトレーニン グに励みます。やりたいことをやって楽しく充実した年にしたいですね。本年もどうぞよろしくお願いいたし ます。



岡本隆(昭和33年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。今年で60歳となり節目の年を迎えました。多くのサラリーマンに とって60歳は定年と言う岐路の年齢です。56歳で診断士の資格を取り、57歳で32年間勤めた自動車会社を 早期退職致しました。現在、独立3年目で、少しずつ中小企業診断士の役割や企業への貢献の仕方が見え てきたところです。目標に向かって進めるプロコンの道を選んで良かったと、今改めて感じています。そし て、多くの診断士の方、支援機関の方、街の社長に出会えたことに感謝しています。



梶原陽二(昭和33年生まれ)

信心のない私も昔から役小角には惹かれ、足跡をたどる山旅を高校の頃から続けています。最近また復 活し、熊野古道、大峰奥駆けに通っているうちに5回目の年男を迎えました。年男年女は年神様のご加護を 多く受けるともいわれます。年神様は元旦に山から里に降りてくるということですが、案外、役小角の化身 だったり…。役小角はただ者ではなく妖術使い・超アスリート・策士でもありました。今年は年神様の加護 を一杯いただき、「食・農・旅」をテーマに診断士13年目の活動と山旅を実り多いものにしたいなぁと思い つつ新年を迎えています。



安藤 学(昭和45年生まれ)

日本が、地方が元気になることに貢献したいという思いから、中小企業診断士の資格を取得してコンサ ルタントに転身し、今年で6年目を迎えます。これまでを振り返ると、商品開発、生産、物流の流れ改善や人 材育成を支援する中で、お客さまと一緒に修羅場をくぐりつつ成果を出していく経験を積み、お客さまとと もに成長してきたと感じています。聴覚と臭覚に優れると言われる犬のように、お客さまの言葉にしっかり と耳を傾け、抱えている根本問題を嗅ぎ分け、解決の方向性を提示してクライアント企業を支援していきた いと思っています。本年もよろしくお願いいたします。



清水和也(昭和45年生まれ)

独立を志し、会社員をやめてから8年が経過しました。公益財団法人で2年間勤務後、平成24年に創業し 現在に至るまで、多くの方々のご支援をいただいた賜物と感じています。最近は、大阪・奈良・兵庫・他地方 都市でコンサルティング、研修・セミナー等の業務に従事していますが、勉強不足を感じることも多く、精進 していかねばならないと感じています。当面は、開業10年を目指して、仕事の受注から業務の質の向上を図 る所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



高越宏和(昭和45年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。早いもので診断士登録をして12年目を迎えようとしています。コ ンサルティングや事業経営に没頭していると、あっという間に年月が経ちました。クライアントと喜びや悲し みを共にし、お互いが成長し合える充実した時間だったと感じています。コンサルタントとして円熟期を迎 える50代、次のステージにステップアップすべく自己研鑽を怠らず、より質の高い経営支援に取り組んでい く所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。URL:http://eleph.jp

NO.113 診断ひょうご



林 直樹(昭和45年生まれ)

昨年に中小企業診断士として登録し、即独立、入会致しました。総務委員会や青年部会に参加させてい ただいています。多くの先輩方と知り合うことができ、ご指導やご助言を頂きながらではありますが、仕事 をさせていだきくことができました。これからの12年間を充実したものとできるよう、診断士としての活動 の幅を広げ、何事も積極的に行動したいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い致します。



山口真司(昭和45年生まれ)

新年、あけましておめでとうございます。「光陰矢の如し」というように時が経つのは早いもので、私も4度 目の干支を迎えることとなりました。12年前は、自身の勤める会社で製造現場のリーダーに就任し、コンサル タントの先生のもと、現場の改善活動に着手していました。これをきっかけに中小企業診断士を志すように なりました。平成27年度の試験に合格し、現在、2度の実務補習を終了したところでございます。いまだ登録 前の未熟者ではございますが、先輩診断士の皆様のように活躍できるよう、頑張っていきたいと思います。



翔(昭和57年生まれ)

新年明けましておめでとうございます。昨年に診断士登録をして、同年入会、独立しました。政府系金融 機関、コンサルティングファームで一貫して中小企業様のご支援に携わって参りました。 独立一年目に年神様のご加護を受けられる年男を迎えたことは、何かのご縁だと思います。また、お陰様で 独立診断士としていろんな方々との交流の機会を頂き、新しい世界が目の前で広がり、日々ワクワクしてい ます。まだ三巡目を迎えたに過ぎない新人ですので、「ご縁を大事に、お蔭様の心で」を新年の抱負とした



冨松 誠(昭和57年生まれ)

いと思います。本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。平成25年に独立してから5年、兵庫県を中心に企業再生の業務に携わってお ります。昨年は1月に第一子が誕生し、12月には自宅の引っ越しをいたしました。業務の面でも企業承継や研修等 これまで関与が少なかった分野の仕事を多くいただき、公私ともに充実した一年を過ごすことができました。現在 35歳。40歳まで色々なことに挑戦していきたいと思います。差し当たって「昨年挫折したラテン語を何とか形にし たいかな」「法律や簿記も一からやり直したいな」などと考えております。本年もよろしくお願いいたします。



松尾健治(昭和57年生まれ)

中小企業診断士の資格を取得して6年目、独立して3年目になります。独立1年目は、WEBや広告のディレク ターとしての業務が多かったですが、昨年から診断士業務の比重を高めるよう活動しています。診断士業務にや りがいを感じる一方、経験するほど課題が見つかりますので、プロフェッショナルの先達の方々から少しでも多く のことを吸収したいと思います。また、旧年中は、「鶏が先か、卵が先か・・・、鶏が先や!」というお言葉を、複数の 経営者からお聞きいたしました。今年は拠点事務所を開設するなど、リスクを負ってチャレンジする所存です。



森本美弥(昭和57年生まれ)

あけましておめでとうございます。今年で3度目の年女となりました。平成28年に診断士登録を行い、昨 年入会致しました。企業内診断士でして、外資系自動車部品メーカーで営業を担当しております。様々な バックグラウンドを持った方々との出会いなど診断士としての活動を通して、視野がぐっと広がっていくの を実感しております。今年はこれまでの経験を活かし、診断士として何かお役に立てることができればと意 気込んでおります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

研究会報告

皆で議論し海外進出支援の

知識深まる

診断技術向上研究会 上 山 芳 樹

新年明けましておめでとうございます。

診断技術向上研究会は、発足後20余年を経過する伝統の ある研究会です。

毎月第2木曜日に我々兵庫県協会の会員を中心に20名強 の会員で年度に設定したテーマに向けて発表、議論し絆が 広がっていく研究会です。

過去には、コミュニケーション心理学(交流分析)、地域創 生、SNSビジネス展開、BCP(災害等に対応した事業継続計 画)、BSC(バランススコアカード)、TOC(制約条件理論)、ロ ジカルシンキング理論等いろいろな研究を行ってきました。

本年度の研究テーマは、「海外進出支援」です。

2011年から4年間お世話になった中国(上海)の駐在勤務 の経験を通して、本年度の推進役を務めさせていただいて おります。

中小企業にとって海外進出支援は、広大な市場を見つめ た販売面においても、低廉な人件費、豊富な人材など調達や 生産面においても、昨今欠くことのできない経営課題として 注目を浴びています。それだけに全国各地でセミナーや講 演会も頻繁に行われています。

そのような状況の中で、「独自の海外進出支援の出来る体 制を作っていこう!」ということを合言葉に各月のテーマを決 め(スケジュール表参照)会員の皆様と毎月いろいろと議論し て進めております。

この研究会の良さは、大きく分けて2つの要因があるのか な、と思っております。

まずは出席率が高いこと。毎月の出席率は90%近くを誇り 会員の皆様の熱心さを感じる次第です。次に単なる発表会 でないこと。発表に対してほとんどの出席者の方々から活発 な質疑があり、これに応答し、皆で考察し議論することでいろ いろと話題が広がり会員の知識が深まると言った良さがあり ます。またそのお陰で会員同士のコミュニケーションも深ま



研究会の様子

ると言った良さを持っています。

加えて楠田会長に議事録を作成していただき、欠席され た会員の方々にもご理解いただける体制も整備していただ いております。もちろん終了後は忘年会、納涼会に加え有志 同士の飲み会等で楽しいひと時も過ごすことができます。

新年を迎え本年度の活動も第4コーナーに入りました。当 初に目標とした会員の皆様が共有出来る成果物としての 「海外進出支援マニュアル」の作成に向けて会員一同楽しみ ながら進めていきたく思っております。

今後もどうぞよろしくお願いいたします。



研究会メンバーは次の通り

稲葉晃、岩下清、植田訓行、斉藤堅一、高槻仁志、冨田將美、永 久修、瀧澤精一、上山芳樹、玉島剛、多田やす子、塙博夫、藤原 正幸、渡辺明、田中史、楠田貴康、稲見友子、稲垣賢一、森克 巳、森本美弥、福田侑摩、鳥生明美、小島勉(敬称略、順不同)

平成29年度推進スケジュール

開催月	No.	テ ー マ
4月	1	オリエンテーション(本年度のスキーム紹介)
5月	2	海外を知る。(中国、東南アジア事例等)
6月	3	海外進出の事情(ニーズ)、手続及び形態と方法を考える。
7月	4	海外進出支援制度等を考える。
8月	5	海外進出の成功要因、失敗要因を探る。
		機会(Oportunity)と脅威(Threat)
9月	6	事例研究 成功事例と失敗事例を探る。
10月	U	強み (Strength) と弱み (Weakness)
11月	7	国際人としてのあり方を考える。
12月	8	今後の海外進出有望業種を考える。
1月	9	国際化(海外進出)を支援できる診断士像を考える。
2月	10	
3月	10	成果物 「海外進出支援マニュアル」の作成

理化学研究所「京」見学報告

未来のスパコンの進化に 広がる楽しみ

会員研修委員会 稲 見 友 子

平成29年10月11日、神戸市の理化学研究所で、第3回スキルアップセミナー 「スーパーコンピューター『京』の見学会」が行われました。

18名の参加者は、はじめに展示ホールに案内され、同研究所の案内の方か ら「京」についての説明を聞いた後、「京」が実際にどのように利用されている のか具体事例のVTRを視聴しました。それは癌治療の創薬において、同じ癌で も人によって微妙に違いのある癌細胞にぴったり合う有効薬剤を、「京」を使っ てグラフィックにシミュレーションしていくものでした。「京」は人の手が届かな いことをコンピューターシミュレーションにより、手の届くものにしてくれること がよく理解できました。



理化学研究所の全景

そのほかにも「京」を守る建物の免震設備や冷却システムなども見学することができました。免震設備や冷却システム は、「京」の建物に限らず、同様の目的を持った大きな施設には共通のものであり、設備を間近で見学できたことは大変有 意義でした。

案内の方の説明も大変わかりやすく、参加者からのいろいろな質問にも丁寧にお答えいただき、とても充実した見学会 となりました。

「京」の後継機として、ポスト「京」の開発が進んでいるそうです。未来のスパコンがさらにどのように進化していくのか、と ても楽しみです。



入口の興味深い様々な展示



展示されている実物の1ユニット



本体冷却のための施設

とても分かりやすい 説明を受けました

私の駆け出し時代 ⑥



できることをきちんと当たり前に

三宅経営コンサルティング 代表 三宅 真司 さん

現在活躍されている当協会会員も、駆け出し時代は様々な苦労をされてきました。「今だから話せるエピソード」も織り交ぜながら、苦労話や飛躍のきっかけ、後進へのアドバイスなどを広報委員が伺います。6回目は、2015年に診断士登録・独立開業をされた三宅真司さんです。

一まず始めに、中小企業診断士の資格を取得したきっかけ を教えてください。

前職はソニーでVAIO (パソコン) の販売部門にいまして、店舗に実際入り込んで販売をしていました。しかしその後、この部門が解体されることになってしまいました。それまでは販売部門だけをしていましたので、経営全般から販売をとらえたことがなく、勉強したいと思ったのがきっかけです。また、このままではいつまで会社にいれるかわからないという恐怖心もありました。

一音楽学校出身だそうですね。

大阪音楽大学でクラシックギターを勉強していました。 卒業後、音楽活動も多少続けていましたので、時間が自由 なアパレルの仕事に就きました。当時はあまり仕事に対し てのこだわりがなかったと思います。アパレルで販売をして いた時に、ソニーが販売部門を内製化するということで販 売員を募集していまして、運よく転職ができました。妙な職 歴です(笑)

一診断士登録後すぐに独立されていますが、創業当時はどのような状況でしたか?

独立後すぐに、運よく最初の仕事が入り半年ほどその案件に取り組んでいました。その合間にセミナーの仕事をしていました。意外と最初は順調に仕事を頂けましたが、最初の案件が終わった後に仕事が空いて金銭的に苦労しました。しかし、ありがたいことに1つの仕事からリピートや紹介に上手く繋がっていきました。今は、仕事のほとんどが顧問や年間プロジェクトなど民間企業が相手先です。公的機関の仕事としては、「神戸開業支援コンシェルジュ」のコーディネーターとして月に2~3回、創業者様の相談対応をしています。

ー三宅さんの一番印象的なのが声と話し方ですが、何か努力されたのでしょうか?

接客をしていましたので、ある程度話すことは得意でした。独立した頃はセミナーを武器にしようと思っていました

ので、ボイストレーナーから声の出し方を学んだり、プレゼンのセッションも受講したりしながら、話し方を身につけてきました。そこは意識して勉強してきました。接客マナーの講師研修なども受けていました。話し方やセミナーに関しては自己投資をしてきました。

一お仕事をする上で心掛けていることはありますか?

「このくらいはやってくれよ」という相手の期待値を必ず上回るように心掛けています。特に駆け出し時代はあまり高いレベルは求められていない場合もありますが、必ず期待値を上回るように仕事をしていました。私の場合、コミュニケーションは積極的に取るようにしています。できるだけ早い納期と、相手の意図をしっかり伺いながら目標がズレないように心掛けています。

一今後、ご自身のビジネスで何かお考えのことはありますか?

実は今、3人ほどで会社を立ち上げようとしていまして、 定款を作っているところです。最近はコンサルティングが中心ですが、ここにITの分野も加え、広く仕事をとれるようにしていこうと思い、ここ1年は力を入れてしっかりやっていきたいと思っています。あまり診断士っぱくはないですが、少し無駄なことも面白いと思ったことには投資していきたいと思います。

一最後に駆け出し中の診断士にメッセージを頂けますで しょうか?

基本はしっかり守る、ということではないでしょうか。目立ったことをいきなりやろうとしても基本ができていないとそうは見えない。時間を守る、確認する、といった基本的なことを守った上で、誠意を持って仕事と向き合うと次のステップにすすめるはずです。すごいことを見せるのではなく、できることをきちんと当たり前にする。その積み重ねだと思います。

(インタビュアー 広報委員会 逢坂なつ紀)

委員会報告 10月~12月

広報委員会

委員会開催日	主な議題
10月10日(火)	診断ひょうご1月号コンテンツ検討、ホームページのコンテンツ充実策検討等
12月 4日(月)	診断ひょうご1月号の校閲、次期施策の検討等

【事業報告】

- ・「国際フロンティア産業メッセ」出展の成果として、神戸市立神港高校への「出前授業」が実現しました。この模様は地元ケーブルテレビでも放送されました。
- ・ホームページへの情報提供をお待ちしております。

●会員研修委員会

	委員会開催日	主な議題
	10月23日(月)	29年度事業の実施結果と進捗状況 30年度のスキルアップセミナー開催に関する意見交換
	11月27日(月)	29年度事業の実施結果と進捗状況 30年度の会員研修の基本方針および、運営体制について
	12月25日(月)	29年度事業の実施結果と進捗状況 30年度の役割分担について

|【事業報告

今年度の上半期活動について総括し、来年度に向けた意見交換を始めました。今年度、前半でニーズが高かったのが会員向け実務に関するセミナーであったので、来年のセミナー企画の参考にし、会員の一層の満足につながるように努めます。

総務委員会

委員会開催日	主な議題				
10月10日(火)	平成29年度理論政策更新研修の総括 平成29年度経営診断実務研修の進捗確認 協会事務所等管理方針及び事務所レイアウト変更について				
11月14日(火)	平成30年度の年間スケジュール及び運営方法等の検討 平成30年新年会運営管理手順の検討 協会事務所管等理規程変更案の検討 協会事務所レイアウト変更実施手順の確認・調整				
12月12日(火)	平成29年度経営診断実務研修の進捗状況の確認 平成30年度の年間スケジュール及び運営方法等の確認 平成30年度予算編成、社員総会の準備 会員入退会規程・会費規程等の変更案の検討				

【事業報告

- ・協会事務所の情報セキュリティー強化を目的に、事務所の運営方針を変更しました。それに伴い、協会事務所の夜間・休日の使用を、協会名義使用活動(委員会活動等)を除き、原則、使用禁止にすることになりました。
- ・また、事務スペースへの会員の立ち入りを制限するとともに、共有スペースの拡充を図ることを目的に、事務所レイアウトの変更を実施しました。

受託開発委員会

-`	委員会開催日	主な議題
	10月10日(火)	今年度の受託実績進捗・予測について
ま	【事業報告】	受託宝績も丘庫但信田保証協会案件などを受託!,昨年

- ・ 平成29年度の受託実績も兵庫県信用保証協会案件などを受託し、昨年以上の受託実績となる状況です。
- ・受託開発委員会の役員人事の変更により理事1名変更となる予定。最終的には社員総会議決により決定します。

ニュース

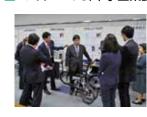
■ 神戸市立神港高校で「出前授業」



中小企業診断士による「出前授業」が10月31日、神戸市立神港高校で行われた。講師は当協会の稲垣賢一会員で、商業科の16人を対象に「ビジネス応用」の授業の1コマを受

け持った。中小企業診断士の仕事内容、企業や経営の仕組みを説明した後、焼き鳥店を題材にグループワークを実施。食中毒発生の原因究明と再発防止策、売上の向上について楽しくディスカッションしていた。当協会も出展して9月に神戸市・ポートアイランドで開かれた「国際フロンティア産業メッセ」で稲垣会員が同校の教師と知り合い、今回の「出前授業」の企画を進めた。

■ マイドームで「中小企業診断士の日」記念イベント



マイドームおおさか(大阪市)で11月1日、「中小企業診断士をこう活用すれば会社は伸びる!」~診断士のト・リ・セ・ツ(取扱説明書)~を開催し、経営者や支援機関の方々、中小企業

診断士など235人が参加した。診断士が支援した兵庫・大阪・京都の20社についてパネル展示を行い、経営革新や創業・第二創業、事業承継、マーケティング、生産性向上、組織活性化についての支援事例を紹介した。各パネル前のブー

スでは商品のサンプルやパンフレットなどが並び、企業同士 や診断士とのビジネスマッチングにもなった。

■ 「中小企業経営診断シンポジウム」が開催

平成29年度「中小企業経営診断シンポジウム」が11月8日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開かれた。経営革新事例の論文発表が行われた第1分科会では、当



NEWS

協会会員でもある小林知彦氏が「人材採用・育成に悩む中小企業支援の在り方~「知的資産経営報告書」を活用した経営支援事例と提言~」と題してプレゼンテーション。「知的資産経営報告書」を元に、マーケティングの考え方を取り入れた採用活動を行った実績を報告した。

■ 「金融行政方針と診断士への期待」セミナー開催

神戸市産業振興センターで 11月18日、「金融行政方針と 診断士への期待」と題して、 近畿財務局神戸財務事務所 の関質政人氏をお招きして、 スキルアップセミナーを開催し



た。地域金融機関の現状をわかりやすくお話しいただいたほか、金融行政の基本方針や目標などについて、有意義なお話をいただいた。

6